

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2020年7・8月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第615号

アカデミー運動の責任の一端を担わせていただいていた日が浅いですが、関西セミナーハウスを中心とするアカデミー運動との出会いは47年前に遡ります。関西学院大学大学院のゼミ合宿で、指導教授の松村克己先生がアカデミー運動創設時から深く関わっておられたこともあり、セミナーハウスを利用いたしました。その後、ドイツのミュンヘン大学留学の折、アカデミー運動の源流であるバート・ボルを訪れ、創始者のE・ミュラー先生にもお目にかかり、アカデミー運動について学ぶ機会がありました。第二次大戦直後に誕生して以降75周年記念を迎えています。が、教会と社会を架橋し、対話を通して社会を形成するその働きは、国内の各州教会にも展開し、戦後のドイツ教会の最も良質な働きの一つと高く評価されています。日本のアカデミー運動も、創立60周年を迎えようとしています。

これまで、筆者は関西セミナーハウスを会場とした多彩なエキュメニカルな集いに参与する機会がありました。特に近年では、2013年のWCC第10回総会(韓国プサン)後、セミナーハウスでの集いにおいてエキュメニカル・ネットワーク(Network)が創設された経験が上げられます。国内外のエキュメニカル・ネットワークの交流と促進を意図して活動し、運営委員会にはアカデミーのスタッフも関わっておられます。「日本におけるエキュメニカル運動

の課題と展望」という主題を掲げて2015年8月に第一回協議会を催して以降、隔年ごとに三回の協議会を日韓のNCC総幹事も招待して開催されてきています。これまでのセミナーハウスでの創立集会や協議会は豊かな成果が与えられましたが、それも会場の素晴らしいロケーションとスタッフのホスピタリティの

## アカデミー運動との関わり

財団理事

神田 健次



賜物と言えます。

もう一つは、2013年3月にセミナーハウスにおいて開かれた「第4回神学生交流プログラム」です。これは関東の運営委員長戒能信生先生の企画によるアカデミー主催のプログラムであり、初めの頃は関東と関西が交互に開催するが、第4回の校長を依頼されて参加いたしました。

最後に、2016年秋に日本キリスト教近畿支部会がセミナーハウスを会場として開催した日中韓神学フォーラムです。このフォーラムは、東アジアの和解と平和を求め、隔年ごとに日中韓三カ国持ち回りで実施されてきました。特別セッションとして国際的に著名な渡辺総一画伯をお招きし、竹中正夫先生が長年収集されたアジアと日本のキリスト教美術の作品について語っていただいた特別レクチャーは、参加者に大きなインパクトをもたらし、フォーラムに豊かな潤いがあたえられました。秋の紅葉がひととき内に展示されているキリスト教美術の数々の名品を、ゆつたりと流れる時間の中で、参加者がそれぞれ深く味わう機会が与えられました。セミナーハウス所蔵のアジアと日本のキリスト教美術の宝庫の輝きを改めて心に刻んだ次第です。(関西学院大学名誉教授)

# 公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

## 2019年度事業報告(総括)

当財団の2019年度の事業活動は、以下の通りである。

### 1. 事業の推進

#### 1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

①フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。

②アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

①当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。

②当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

①関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。

②機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

#### 2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益の一部を公益活動に資した。

### 2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事业、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

### 3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

### 4. 財団の財政健全化

2017年度第3回理事会(2018年2月26日に開催)は、日本キリスト教会館関連資産の運用益及び関西セミナーハウス収益の一部を原資として、2018年から10年で運用基金を1億円の水準まで戻す財団財政の健全化の計画を承認した。財団本部は、財政健全化目的の2019年度分積立として250万円を運用基金に振り替えた。関西セミナーハウスからの本部負担金340万円と合わせて、運用基金は年間で590万円増加した。その結果、年度末現在の運用基金残高は4,500万円となる。

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産	27,903,866	30,973,812	△3,069,946
2. 固定資産			
(1)基本財産	12,000,000	12,000,000	0
(2)特定資産	74,751,127	56,968,414	17,782,713
(3)その他固定資産	314,317,332	321,012,472	△6,695,140
固定資産合計	401,068,459	389,980,886	11,087,573
資産合計	428,972,325	420,954,698	8,017,627
II 負債の部			
1. 流動負債	9,080,971	10,533,648	△1,452,677
2. 固定負債	21,203,568	20,045,028	1,158,540
負債合計	30,284,539	30,578,676	△294,137
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	11,000,000	0	11,000,000
2. 一般正味財産	387,687,786	390,376,022	△2,688,236
正味財産合計	398,687,786	390,376,022	8,311,764
負債及び正味財産合計	428,972,325	420,954,698	8,017,627

関西セミナーハウス活動センター

寄稿

「開発教育セミナー」からの提言

関西運営委員・開発教育運営委員 金山 顕子さん



私が初めて関西セミナーハウスを訪ねたのは1990年だった。高校の社会科教員として国際理解教育は知っていたものの、欧米にしか関心のなかった私がやっと、人権や平和や環境等の地球的課題を解決するには「発展途上国」と「先進工業国」の南北問題を克服するしかないと思いつき、アジアへのスタディーツアーを実施していた「開発教育推進セミナー」(当時)に

参加したからだだった。その時、足尾銅山鉛毒事件をフィリピンで再現する日系企業を糾す池住圭さん、アジアからの花嫁や女性労働者を守るHELIP、ユニセフ関西事務所を立ち上げた浜田進土さん、『1本のバナナから』の著者大津和子さん、外国人労働者問題を教材化した藤原孝章さんを知って、海外に行かなくても日本社会をまっとうにす

ることで世界はよくなると思うんだ。翌年から「開発教育研究会」の運営委員となり、現在までセミナーに関わっている。だれに言われたわけでもないのに週末に泊まりがけで集まり、生き生きと教育を語る参加者に毎回元気をもらい、関セミはいつの間にか私の「ホーム」になった。

セミナーの始まりは1989年。クリスマスキャンアカデミーの「はなしあい」を体現するため、1泊2日で年6回(基本)実施してきた。館長(当時)平田哲さんは、第二次世界大戦における日本の戦争責任を自覚し、アジア・太平洋諸国と和解してこそその国際協力だと考え、関セミから社会変革を働きかける実践者だった。開発教育の資料収集や研究のため、私たちをイギリスやオランダ、アメリカに送り出してくれた。鍋パ

ーティをやったこともある。そんな物心両面の支援を受けたので、私はできることで関セミに恩返しをしたと思う。開発教育研究会運営委員長で、後にDEAR(開発教育協会)の代表になった岩崎裕保さんも同様だろう。関

セミ(活動センター)は、関西NGO協議会のメンバーであり、様々な人々とつながり、多くの会を誘致し、豊かな出会いを提供してきた。

現在、関西の活動センターにフルタイムの所長がいないのはとても残念だが、だからこそ以下の提案をしたいと思う。

1、活動センター運営委員には、何らかの活動をしている団体所属者になつてもら

う。 関セミで会を主催した団体には、使い勝手や今後の活動内容を聞いて継続して利用してもらおうようにしていると思うが、運営委員を依頼してはどうだろうか。年に数回は会を持つてもらえてウインウィンである。

2、修学院フォーラムの分野ごとに運営委員会を作つて運営する。

現在、活動センターの運営委員が修学院フォーラムのすべてを考えているが、限界がある。これまで積極的に発言していた参加者に声をかけ、一緒にフォーラムを企画しようと思きかけてはどうだろうか。活動センターの運営委員

には、ネットワーク作りが求められると思う。

開発教育研究会には、現在11名の運営委員がいる。そこから2名を活動センター運営委員に出している。開発教育セミナー後に毎回反省会をし、年度末に3回集まって年度のセミナー内容、講師を決めている。さらに3名で1セミナーを担当し、打ち合わせをしながら運営している。そこで作成した教材をまとめてこれまでに4冊の本を出版した。その印税で、セミナーの赤字分を補填している。

以前は40名を超えた参加者も、運営委員くらいしか集まらないこともある。ネットで容易に教材を得られるようになったからかもしれない。泊を伴うことと交通の便が悪い点もマイナスかもしれないが、隔絶した環境でじっくり話し合えるセミナーの希少性を大事にしたいと思う。コロナ禍では、密集・密接になりやすい参加型学習は難しい面があるが、自分たちが学びたいセミナーを自分たちで作る過程を楽しめる仲間を発掘し、乗り越えていきたいと思う。(京都府立清明高等学校教諭)

**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

9月開講予定

■**2020年度 関東フォーラム宗教対話I**

「教会と音楽 讃美歌を中心として」  
 講師：小海 基さん(日本基督教団荻窪教会牧師・元教団讃美歌委員)

日時：9月10日(水)14:00~16:00  
 会場：AVACOビル2階チャペル  
 参加費：1,000円

■**2020年度 関東フォーラム宗教対話III**

「悪と苦難の問題を考える」  
 講師：本多 峰子さん(二松学舎大学教授)

日時：9月17日(木)13:00~14:30  
 会場：日本キリスト教会館1階16号室

参加費：1,000円

■**2020年度聖書を読む講座**

「新しい聖書の学び マルコ福音書を読むIII」  
 講師：山口 里子さん(聖書学者)

日時：9月8日(火)18:30より  
 会場：早稲田奉仕園スコットホール2階

■**2020年度聖書を読む講座I**

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう—この時代の中で、聖書からのメッセージを読み解く—」

講師：上林 順一郎さん

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 中村 信博

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 TEL 075-711-2147  
 FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
 日本キリスト教会館1F  
 TEL 03-3207-6198  
 E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/

関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115  
 E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117  
 E-mail:office@academy-kansai.org

日時：9月23日(水)14:00~16:00  
 会場：早稲田奉仕園1号館101号室  
 参加費：1,000円

■**2020年度 研究會**

「さらに豊かな礼拝のために~ことばを届けるトレーニング」

講師：友野 富美子さん(日本キリスト教団吉祥寺教会担任教師)

日時：9月15日(火)18:00~20:00  
 会場：日本基督教団葉鴨ときわ教会  
 参加費：2,000円

■**2020年度 関東フォーラム 宗教対話 特別講義**

「スペイン風邪(1918~20年)の時、キリスト教会はどうであったのか」

講師：戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

日時：9月24日(木)14:00  
 会場：AVACOビル2階チャペル

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2020年度修学院フォーラム「福祉」**  
 第1回「宣教と当事者研究~“精神障がいと教会”の経験から」

講師：向谷地 生良さん(北海道医療大学教授、(社福)浦河へてるの家理事)

日時：8月30日(日)16:00~31日(月)13:00

会場：関西セミナーハウス  
 参加費：15,000円、学生7,000円  
 (1泊3食、テキスト代、京都市宿泊税込)

■**2020年度 開発教育セミナー**

第3回「中東の今とこれからの日本~紛争地のリアルから考える~」

講師：西谷 文和さん(フリージャーナリスト)

日時：9月26日(土)16:00~27日(日)12:00

会場：関西セミナーハウス  
 参加費：10,500円(1泊2食込)  
 京都市宿泊税200円別

■**2020年度お茶のこころと宗教のこころ**  
 「D.ボンヘッファー(1906~1945)の遺稿『倫理』を新版で読む」

講師：山崎 和明さん(四国学院大学名誉教授)

日時：9月または10月開講予定  
 会場：関西セミナーハウス

参加費：1,500円(抹茶と和菓子付)  
 3月宿泊食事代は別途

◎新型コロナウイルス感染拡大などの状況により、開催予定変更の可能性が有ります。その場合は、左記の各センターウェブサイトなどでお知らせいたします。

**賛助会費・寄付金報告**

2020年5月1日~6月30日

(順不同・敬称略)

◆**財団本部**

寄付金

棟方 信彦 4,640  
 奥田 豊 100,000

◆**関東活動センター**

賛助会費

吉田 博 5,000

寄付金

大石 貞子 3,000  
 許 昌範 10,000

神学生プログラム寄付金

吉田 博 5,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

武藤 高司 40,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

平林 喜博 5,000  
 李 善恵 5,000  
 橘 俊子 60,000

岡安 茂祐 5,000

松田 光代 5,000

伏木 信次 5,000

織田 雪江 5,000

浅田 凉子 10,000

陶村 世佳子 5,000

竹中 百合子 5,000

古賀 暢子 5,000

松本 嘉一 5,000

五十嵐 萬里子 5,000

浅川 具美 10,000

真鍋 裕子 5,000

喜多村 やよい 5,000

株式会社こころ 10,000

佐藤 友紀 5,000

間瀬 啓允 5,000

木下 壽子 5,000

鳥井 清司 5,000

鳥井 操 5,000

殿村 元一 5,000

大谷 光真 5,000

柳井 一朗 10,000

黒田 睦子 3,000

田辺 信子 5,000

長塩 滋子 3,000

春名 康範 10,000

棟方 信彦 5,000

寄付金

平林 喜博 5,000

松本 嘉一 5,000

鳥井 清司 5,000

鳥井 操 5,000

小崎 眞 10,000

織田 雪江 1,040

金山 顕子 9,960

柳井 一朗 6,440

相浦 恵子 5,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。